

	タイトル	担当課	活用状況	具体的な活用事例
1	ユニバーサルデザインと犯罪・不審者等の情報発信に関するアンケート	子ども・福祉部地域福祉課	計画書などの資料として活用	「ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に位置づけられている「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画」において、ユニバーサルデザインやヘルプマークの認知度や関心度を把握し、だれもが暮らしやすいまちづくりへの取組等の指標として活用している。
		警察本部生活安全企画課	計画書などの資料として活用	県警独自の防犯アプリ導入の検討に際し、不審者情報等の情報発信の必要性についての資料として活用した。
2	総合博物館(Mie Museum)に関するアンケート	総合博物館	その他	新型コロナウイルス感染症の流行を受けて行ったリモート関連の取組についてご意見をいただき、当館での活動の参考とした。
3	自転車損害賠償責任保険等への加入と県立大学の設置に関するアンケート	環境生活部くらし・交通安全課	計画書などの資料として活用	令和3年10月1日からの自転車損害賠償責任保険等加入の義務化を踏まえ、自転車損害賠償責任保険等への加入状況を把握するとともに、加入促進を妨げる問題点を明らかにし、今後の加入促進のあり方の検討材料とした。
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	
		戦略企画部戦略企画総務課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	
4	障がい者施策と広聴広報に関するアンケート	子ども・福祉部障がい福祉課	計画書などの資料として活用	「みえ障がい者共生社会づくりプラン」の数値目標の一つとして利用している。
		戦略企画部広聴広報課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	県民の皆さんの情報入手状況を把握し、今後の広聴広報の充実を図るための参考資料として活用した。
5	三重の森林づくりと少子化対策に関するアンケート	農林水産部みどり共生推進課	計画書などの資料として活用	「三重の森林づくり基本計画2019」の指標算出のための基礎データとして活用している。
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	みえ森と緑の県民税評価委員会における事業評価の参考資料として活用し、評価内容をもとにPRの方向性を検討している。
		子ども・福祉部少子化対策課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	少子化対策の取組にかかる成果や効果、子どもの権利などに対する県民の認識や地域社会の状況について、現状を把握し、今後の取組の参考として活用した。
6	障がい者スポーツとスポーツ推進に関するアンケート	子ども・福祉部障がい福祉課	計画書などの資料として活用	「第2次三重県スポーツ推進計画」の目標項目の一つである「障がい者スポーツに関心がある県民の割合」を把握するために活用した。また、障がい者スポーツの裾野を広げる取組を検討する際にも活用している。
		地域連携部スポーツ推進課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	運動・スポーツ実施率の調査結果を用いて、年代別・性別等で課題分析を行い、現行取組のPRの方向性などの検討資料として活用した。
7	三重県立美術館に関するアンケート	美術館	その他	利用者・未利用者について調査し、結果を館内外で共有し、今後の活動の方向性の検討材料とした。
8	リニア中央新幹線、自転車利用、キャッシュレス決済に関するアンケート	地域連携部交通政策課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	リニアに対する期待や魅力をどのように感じられているかを把握した。リニア三重県駅の利便性向上に向けての施策の参考とする。
			計画書などの資料として活用	県民の自転車通勤など利用状況を把握し、三重県自転車活用推進計画における施策の進捗状況の確認に活用した。
		デジタル社会推進局デジタル事業推進課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	県民の皆さんのキャッシュレス決済の利用状況等に関する傾向を把握し、事業の必要性や方向性の参考にした。
9	安全安心まちづくり・犯罪被害者等支援・消費生活と地産地消・食育及びみえの安心食材に関するアンケート	環境生活部くらし・交通安全課	計画書などの資料として活用	第3次行動計画 施策143「消費生活の安全の確保」における主指標「消費者トラブルに遭った時に消費生活相談窓口を利用するとした人の割合」を把握するために活用した。
			計画書などの資料として活用	防犯・交通安全に係る取組を総合的に推進するための計画「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」における基本目標及び重点テーマの活動指標に、e-モニターの回答値を設定している。また、同アクションプログラムの年次報告書に、進捗状況を判断するための指標としてe-モニターの結果を掲載している。
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するための計画「三重県犯罪被害者等支援推進計画」における数値目標に、e-モニターの回答値を設定している。また、同計画の年次報告書に、進捗状況を判断するための指標としてe-モニターの結果を掲載している。
		農林水産部フードイノベーション課	計画書などの資料として活用	「第4次三重県食育推進計画」策定の基礎データとして活用したほか、国交付金を活用して例年実施している「地域での食育の推進事業」において、事業目標の設定と実績値把握に活用した。
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度のPR展開に際して、制度の認知度や、アンケートで明らかになった県民が食品を選ぶ際に重視している点を参考にした。
10	「三重県の食に関する取組」と「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」についてのアンケート	医療保健部健康推進課	計画書などの資料として活用	三重県健康づくり基本計画、第4次三重県食育推進計画の評価指標や進捗管理として活用した。
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	糖尿病対策懇話会において、糖尿病対策の検討資料としてデータを活用した。また、栄養関係事業の計画立案のための基礎資料として活用した。
		農林水産部農産物安全・流通課	計画書などの資料として活用	「三重県食の安全・安心の確保に関する条例」に基づき、食の安全・安心確保に関する情報提供を効果的に行えるよう、検討材料として活用するとともに、「食の安全・安心の確保に関する施策の年次報告書」の策定資料として活用している。
11	「ペットの防災対策及び所有者明示」と「文化・生涯学習振興」に関するアンケート	医療保健部食品安全課	計画書などの資料として活用	第3次三重県動物愛護管理推進計画の目標設定や進捗管理として活用している（計画期間：令和3年度～令和7年度）。
		環境生活部文化振興課	計画書などの資料として活用 事業の見直しにあたっての検討材料として活用	文化振興施策の方向性を定めた「新しいみえの文化振興方針」に基づく取組の成果指標として活用している。
12	人権、県税の広報、SDGs、Society 5.0に関するアンケート	環境生活部人権課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	県民の「人権尊重社会実現に関する意識」や、「人権課題に対する関心」等を把握し、今後の啓発活動など人権施策の推進を図るとともに、「第四次人権が尊重される三重をつくる行動プラン 年次報告」における基礎資料として活用した。
		総務部税務企画課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	自動車税種別割の納付について、スマホ決済アプリ(PayPay)で納付できるようになったことを知っていた方が28.8%と少なかったため、今年の納期前納付広報に併せて再周知を行った。差押等の滞納処分に関する質問の回答結果・自由記入意見をもとに、滞納者に対して今後さらに厳正な対応を行ううえでの参考とした。
		戦略企画部企画課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	SDGs、Society 5.0にかかる認知度を把握し、普及啓発のための参考資料として活用した。
13	三重県の農産振興(お米、伊勢茶、GAP(ギャップ))に関するアンケート	農林水産部農産園芸課	調査結果を取りまとめ、三重の米のブランド化を進める会議体(米の集荷業者、卸売業者、県)において、情報共有を図った。	
			事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	伊勢茶マイボトルキャンペーン情報発信事業を展開する上で、伊勢茶のPRする場所や対象者等を選定するための基礎資料として活用した。
			三重県GAP推進検討会の会議資料として調査結果を共有し、今後の事業推進の方向性の基礎資料として活用した。	
14	ダイバーシティ社会推進、男女共同参画、ユニバーサルデザインに関するアンケート	環境生活部ダイバーシティ社会推進課	事業のPRの方向性、重点を置くポイントについての基礎資料として活用	ダイバーシティの浸透度の把握、ダイバーシティ社会実現に向けた今後の取組方策の検討、国の地方創生推進交付金事業の評価指標に活用している。
			計画書などの資料として活用	「三重県男女共同参画年次報告書」の報告データや、県議会常任委員会への報告資料として活用している。
		子ども・福祉部地域福祉課	計画書などの資料として活用	「ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に位置づけられている「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画」に基づき、ユニバーサルデザインやヘルプマークの認知度や関心度を把握し、だれもが暮らしやすいまちづくりへの取組等の指標として活用している。